



平成 27 年 11 月 4 日

各 位

会 社 名 サイバーコム株式会社
代表者名 代表取締役社長 渡邊 剛喜
(コード番号：3852)
問合せ先 常務取締役経営管理部長 佐藤 文昭
(TEL. 045-312-3271)

(訂正)「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の一部訂正について

当社は、平成 26 年 2 月 12 日に公表いたしました「平成 26 年 3 月期 第 3 四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」の記載について訂正がありましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 訂正の内容

訂正箇所には下線を付して表示しております。

○添付資料 2 ページ

(1) 経営成績に関する定性的情報

[訂正前]

<省略>

当第 3 四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業は売上高42億92百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益5億97百万円(前年同期比0.02%減)となりました。

通信ソフトウェア開発は、ネットワーク構成をソフトウェアで動的に設定・変更できるSDN関連のシステム開発案件、LTE網やIPネットワーク網を支える伝送装置、ネットワーク監視システム、ルータ、スイッチの開発案件等を受注いたしました。制御ソフトウェア開発は、車載システム、半導体制御装置、工業用機械制御装置の開発案件等を中心に受注いたしました。また、業務ソフトウェア開発は、ECサイト構築、電子カルテ等の医療系、エネルギー関連のシステム開発案件、自治体向け業務システム開発案件等を受注いたしました。

(サービス事業)

サービス事業は売上高13億4百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益1億79百万円(前年同期比39.7%増)となりました。クラウド化やネットワーク網増強の潮流、BCP(事業継続計画)対策の需要拡大を受け、SIサービス(構築・保守・運用サービス)では、クラウド基盤の構築やデータセンターの運用案件、基地局、ネットワーク網の設計・評価案件等を受注いたしました。

また、「Cyber-Smart CTI」を中心とするプロダクトや「マイグレーションサービス」等の販売も拡大いたしました。

[訂正後]

<省略>

当第3四半期累計期間におけるセグメント別の業績は以下のとおりであります。

(ソフトウェア開発事業)

当社の主力事業でありますソフトウェア開発事業は売上高42億92百万円(前年同期比3.7%増)、営業利益5億98百万円(前年同期比0.1%増)となりました。

通信ソフトウェア開発は、ネットワーク構成をソフトウェアで動的に設定・変更できるSDN関連のシステム開発案件、LTE網やIPネットワーク網を支える伝送装置、ネットワーク監視システム、ルータ、スイッチの開発案件等を受注いたしました。制御ソフトウェア開発は、車載システム、半導体制御装置、工業用機械制御装置の開発案件等を中心に受注いたしました。また、業務ソフトウェア開発は、ECサイト構築、電子カルテ等の医療系、エネルギー関連のシステム開発案件、自治体向け業務システム開発案件等を受注いたしました。

(サービス事業)

サービス事業は売上高13億4百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益1億79百万円(前年同期比39.9%増)となりました。クラウド化やネットワーク網増強の潮流、BCP(事業継続計画)対策の需要拡大を受け、SIサービス(構築・保守・運用サービス)では、クラウド基盤の構築やデータセンターの運用案件、基地局、ネットワーク網の設計・評価案件等を受注いたしました。

また、「Cyber-Smart CTI」を中心とするプロダクトや「マイグレーションサービス」等の販売も拡大いたしました。

2. 訂正の理由

平成26年3月期第3四半期において確定した営業利益の内訳であるセグメント利益の計算過程において、調整額の販管費及び一般管理費の入力誤りがあったため、ソフトウェア開発事業及びサービス事業に配賦される販管費及び一般管理費にズレが生じ、各セグメント利益が訂正となりました。これにより「平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)」における添付資料の「経営成績に関する定性的情報」及び「セグメント情報等」の記載内容が誤りとなりますので、これを訂正するものであります。

以 上